

3 将来ビジョンと基本理念



3 将来ビジョンと基本理念

1章

2章

3章

4章

5章

将来ビジョンと基本理念

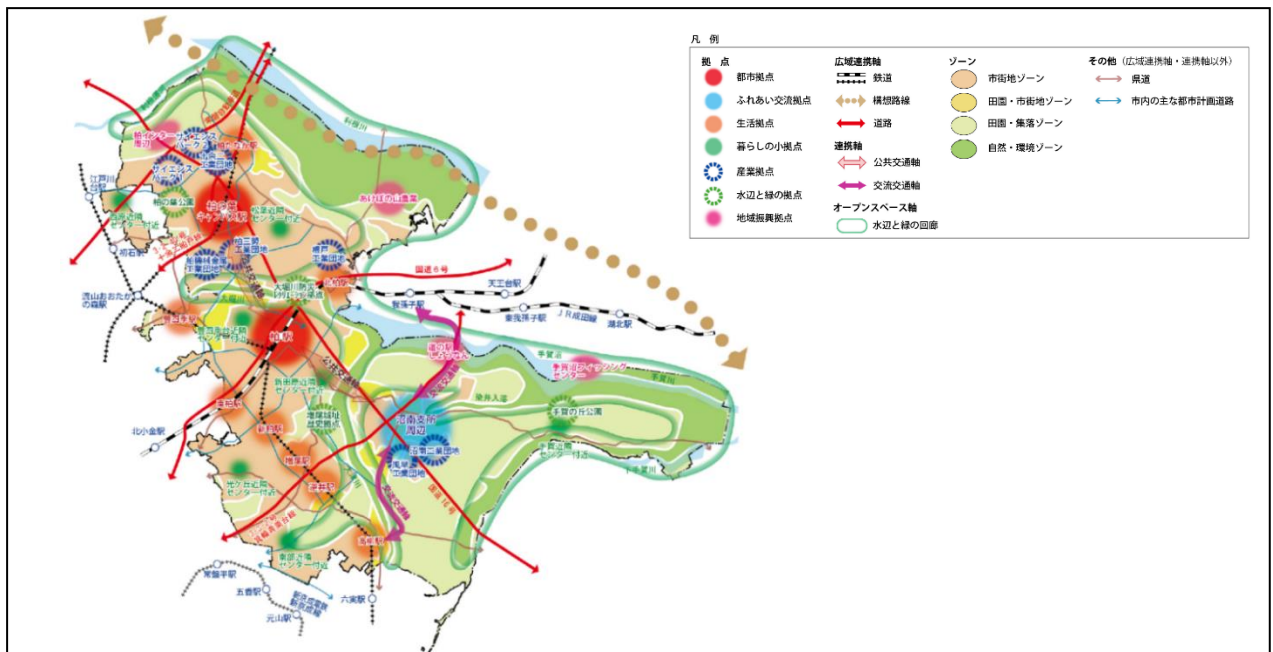
3.1 まちづくりにおける将来像

- ・ 柏市都市計画マスタープランにおける将来都市構造は、都市づくりの目標を達成するために求められる都市の骨格構造を示すものであり、「拠点」、「軸」、「ゾーン」により構成され本市における将来都市構造図は以下のとおりとされています。
- ・ 柏市立地適正化計画では、拠点間及び居住地を結ぶ利便性・効率性の高い公共交通網の形成が課題解決のための施策・誘導方針として示されています。

■将来都市構造の考え方

拠点	都市機能の集積による都市構造の転換を通じて持続可能なまちとなるよう、7つの拠点を設定し、それぞれが連携した一体的な都市づくりを進めます。
軸	人々の交流や円滑な移動を支える公共交通ネットワークや自然環境のネットワークを軸として捉え、市域の一体的な発展を支えます。
ゾーン	拠点と軸の配置や地域ごとの特性を踏まえた土地利用の基本的な方向性を示すものとして、4つのゾーンを設定します。

■将来都市構造図(出典: 柏市都市計画マスタープラン)



■施策・誘導方針(出典: 柏市立地適正化計画)

施策・誘導方針3
拠点間及び居住地を結ぶ利便性・効率性の高い公共交通網の形成

3-1. 基幹的な公共交通路線の持続
 現在の基幹となるバス路線について、都市機能の適正な配置や人口構成のバランスを確保することにより、バス停利用圏の居住環境を維持し、基幹的な公共交通路線の持続を図る。

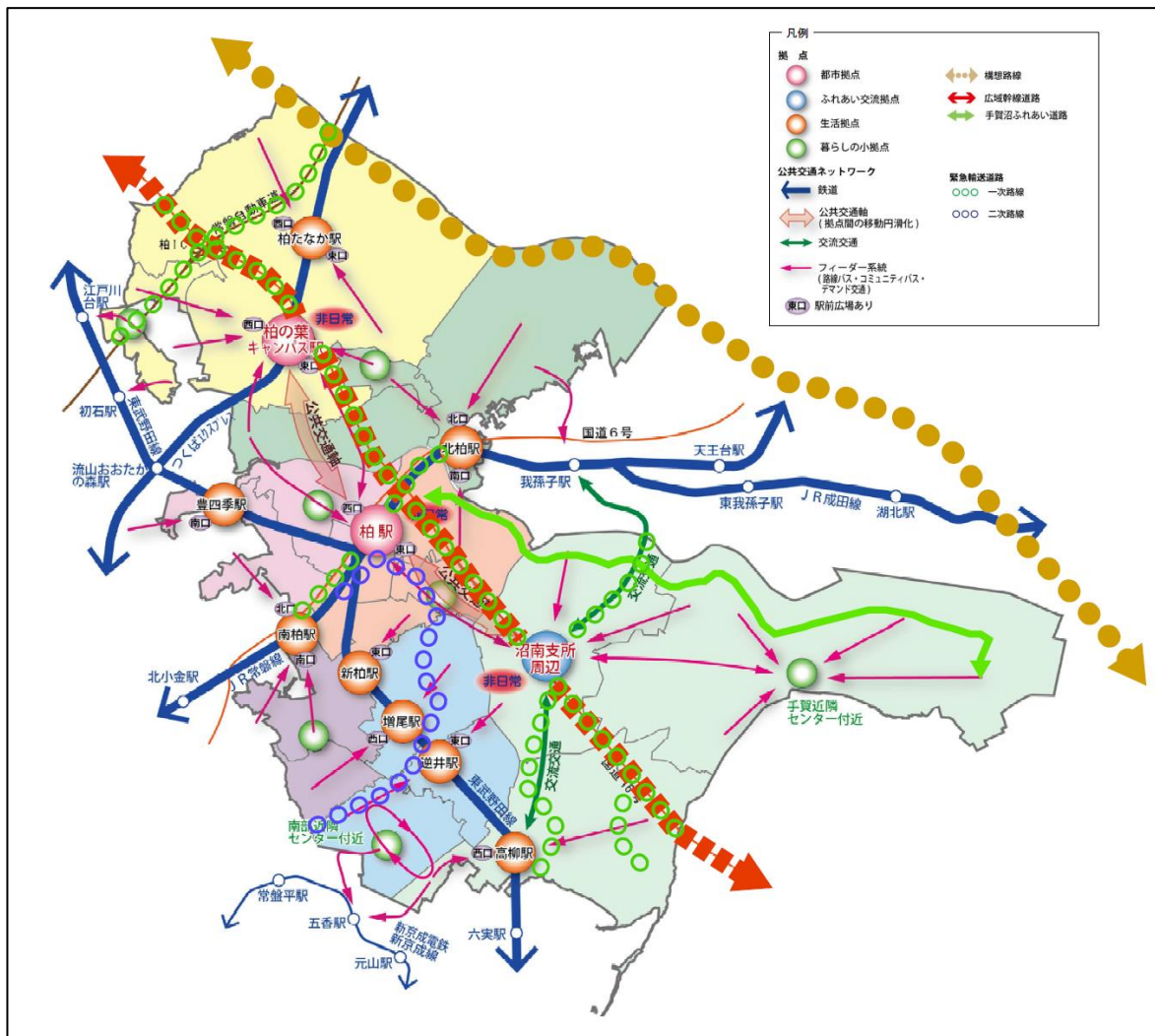
3-2. 交通結節点(ハブ等)の機能強化
 将来の人口構成の変化に応じ、公共交通の幹線・支線機能の役割分担によって持続可能な公共交通網の形成を目指す。また、交通結節点は、拠点への移動需要が維持されるよう、機能強化を図る。

3-3. 利用者の移動需要に対応した効果的なネットワークの再編
 市街地縁辺部等の路線バスの運行本数が少ない不便地域は、路線バスや乗合ジャンボタクシーの運行ルートの変更等、利用者の移動需要に対応した効果的なネットワークの再編を図る。

3. 2 交通ネットワークに係る将来像

- 柏市における目指すべき交通ネットワークの構築に関しては、上位関連計画において、移動における課題や拠点間の連携、連絡機能整備などに関連して、各計画で整備方針が示されています。
- 特に立地適正化計画及び地域公共交通網形成計画では、新しい公共交通ネットワークの整備方針が示されており、上位関連計画における社会状況、交通ネットワークの状況などにおける課題認識を踏まえた、公共交通ネットワーク形成、交通結節点、道路基盤等の方向性を長期的な観点で整理しています。
- 本計画の策定においては、これら計画と連携して施策を推進していくために、交通に係る考え方を参考にし、拠点間や居住誘導地域を連携、連絡する将来の公共交通ネットワーク形成、さらに道路計画、歩行者・自転車ネットワーク、新たな交通システム導入エリアの考え方を加えて、交通ネットワークに係る将来像としました。

■ 将来像を踏まえた交通ネットワーク



3. 3 総合交通計画の基本理念、基本方針

- ・都市計画マスタープランでは、これから迎える人口減少・少子高齢化の時代を見据え、立地適正化を踏まえた効果的・効率的な土地利用、市街地整備を進めるとともに、市民や市を訪れる人々が生き生きと活動できる利便性が高く居心地のよい都市空間の形成を進め、また、地域の資源や特性を活かしてまちづくりを進めるとともに、公共交通が利用しやすい環境を整え、市全体の魅力を高めるとしています。
- ・本計画では、都市計画マスタープランにおける都市づくりの目標の実現を目指し、基本理念を『**くらし・まち・人の活動をささえ、未来へつづく交通を実現**』と設定します。

《都市計画マスタープランにおける都市づくりの理念と目標》

将来都市像：未来へつづく先進住環境都市・柏

【都市づくりの目標】

[目標 1] 利便性や住環境が確保された持続可能なまち

[目標 2] 多くの人が行き交う活力あふれるまち

[目標 3] 誰もが安心して快適に過ごせるまち

【都市構造における視点】

- 柏市の将来都市構造における各々の拠点では生活圏の将来的な維持・継続をけん引する役割が必要
- 中枢交流拠点都市として機能していくためには、生活圏と各拠点の連携を支える交通ネットワークを如何に構築し、各拠点を充実するかがポイント

【交通政策に求められる視点】

[視点 1] 拠点を結ぶ効率的で利便性の高い交通ネットワーク形成

[視点 2] 都市拠点やふれあい交流拠点の交通結節機能・回遊性の向上

[視点 3] 環境にやさしく、誰もが安心・快適に移動できる交通

【基本理念】

くらし・まち・ひとの活動をささえ、未来へつづく交通を実現

【基本理念】

くらし・まち・ひとの活動をささえ、未来へつづく交通を実現

〔基本理念を踏まえた基本方針〕

<方針1>

■快適な移動をささえる

- 定時性・速達性の確保、災害に強い道路ネットワークの形成
- 都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワークの形成

<方針2>

■都市の拠点をささえる

- にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現
- 拠点の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成
- 誰もが移動しやすいバリアフリー環境の充実

<方針3>

■地域の生活をささえる

- 地域の需要や個別のニーズに適応した交通サービスの提供（交通空白不便地域・移動困難者）
- 地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成
- 新技術の開発による持続可能な交通体系の実現

<方針4>

■市民の意識をささえる

- 環境負荷の軽減に向けた交通の実現
- 安全で安心して移動できる交通環境の提供
- 公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信

